



令和7年9月26日
浦和明の星幼稚園

園長 栗田 亨

鮮やかな朱色の彼岸花があちこちで見られるようになり、まるで空気が総入れ替えしたようです。そんな中で子どもたちは、運動会の練習に汗を流しています。先月号でお知らせしたとおり、今年は創立60周年記念運動会です。本日の9月生まれの誕生日会では、次のようなお話をしました。

早速問題です。浦和明の星女子高校と、幼稚園は、どちらが先に作られたのでしょうか？

- ① 中学・高等学校が先 ② 幼稚園と同じ時 ③ 幼稚園が先

正解は、③幼稚園の方が、2年早く作られました。明の星学園は、元々青森県で誕生しました。人が多い東京の方にも学校を作ろうと、この場所を選びました。その時、この地域の方に大変お世話になりました。だから、試験をして受かった人だけが入れる高校よりも「まず、誰でも入れる幼稚園を作って地域の方に恩返しをしよう」と、幼稚園を先に作ったそうです。高校の初めての入学試験は、既にあった幼稚園のお部屋で行いました。

続いて、今年60周年を迎える幼稚園ですが、園長先生の前には、何人の園長先生がいたでしょう？

- ① 1人 ② 4人 ③ 60人

先生の前が、成田りょう先生、その前が、井上ヒロミ先生、その前が、齋藤幸永先生、そして、最初の園長先生が中原ナカ子先生で、園長先生の前に4人の先生方が勤めてくださいました。だから、正解は、②4人です。中でも、すぐ前の成田りょう先生は、33年間も園長をなさいました。60年の歴史の半分以上を園長として、皆さんの成長を見守ってくださいました。今年7月、天に帰られました。ご冥福をお祈りします。

最後の問題です。記念運動会では、特別の出し物があるようです。それは、どれでしょう？

- ① 年長さんがリレーでトラックを60周回。 ② 年中さんがバラバルーンで60個の花火玉を上げる。
③ 年少さんひかり組さんが60m競争をする。

正解は、②年中さんは、クラスを半分に分けて、3クラスで2つのバラバルーンで演技します。最後の「花火」では、手作りの60個の花火玉を上げることに挑戦するそうです。花火は、どうすればうまく上がるでしょう？そう、一人一人が息を合わせてバルーンを引っ張り、全員の力がピッタリ合わさった時、うまく上がります。一人でも自分勝手なことをしたらどうでしょう？そう、上手くは上がりません。年中さんには、心をつなげて60個の花火玉を空高く上げてほしいですね。上がったらみんなで大きな拍手をして成功を喜び、60歳のお誕生をお祝いしましょう。

そして、60周年記念運動会の最大の出し物。それは、みなさんと会場に居る小さい子や小学生みんなと、大きく広がって、「ジャンボリミッキー」を踊ります。初めての試みです。自分がどの場所へ行って踊るのか、学年によっては、ちょっと難しいかも知れません。どうしたらいいでしょう？そうですね。先生のお話をよく聞くこと。一人一人が「幼稚園の60歳のお誕生をお祝いするのだ」という強い気持ちで取り組むことが大切です。みんなが大きく広がって踊り、心と心をつなぐことができれば、もしかしたらびっくりするようなことが起こるかも知れません。そして、踊りを見てくださっているお家の方や地域の方と幼稚園の皆さんの心がつながり、皆さんの心の中に、ずうっとつながる素晴らしい60周年記念運動会になると思います。

今年の運動会は、このような種目が入るため、開始を15分早めます。したがって開門も集合も例年より15分早くなりますので、ご協力よろしくお願いします。

運動会が終わればすぐに、入園願書配付、入園願書受付と園経営にとって極めて重要な日が続きます。それに先立って来年度の学年構成について概要をお知らせします。6カ月からのパピーくらぶ、1歳6カ月からの星の子くらぶ、そしてプレ幼稚園であるおひさま教室は継続します。希望の多い満3歳保育は、1クラス増やして2クラス40名募集する予定です。皆さんのお知り合いで入園を希望される方がいらっしゃいましたらお誘いいただけたらと思います。年少からのクラス数等は、入園状況で変動があるかも知れません。お含みおきください。

創立当初、地域の皆さんと明の星をつなぐ役割を果たした幼稚園が、60年の時を経てさらに未来永劫にわたってつながりますよう、さらに精進してまいります。皆様のお力添えを宜しく願います。